

我が国の大・中・小都市のヒートアイランド現象と都市生活空間における熱環境の実態

heat island

梅干野 晃 [1]

Akira Hoyano[1]

[1] 東工大・総理工・環境理工

[1] T.I.T

我が国におけるヒートアイランド現象は、東京や大阪などの大都市を対象にして議論されてきたが、中・小都市においても同様にヒートアイランド現象は顕在化している。特に地方の中・小都市においては自動車社会により都市は郊外へとスプロールし、水田を埋め立て里山を崩し、ヒートアイランド現象を引き起こす道路や駐車場が建設されるなど、土地被覆の改変はすさまじい。また都市の生活空間における熱環境も、我が国の夏季には悪化の一路をたどっている。人工衛星と航空機からのリモートセンシング画像による大・中・小都市のヒートアイランド現象の実態を示し、都市構造とヒートアイランド現象との関係を議論する。

特に、広大な水田が広がる砺波平野に分布する高岡、砺波等の中・小都市、そして散居を対象として、灌水期(5月)、夏期、雪に覆われた冬期のそれぞれの昼と夜の熱画像で、砺波平野の広域から地上分解能50cmの熱画像による生活空間の実態を紹介したい。

次に、いろいろな生活空間における全球熱画像収録装置で収録した熱画像により、夏季の生活空間における表面温度分布の実態を示し、今日の都市にはいかに熱があふれているかを確認する。